



お江戸舟遊び瓦版 1150号

水彩都市江東 ころこ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティー・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

富士市まちの駅・毘沙門天大祭・トヨタ ウーブンシティ巡り

日時：2月23日（祝） 所：静岡県富士市、裾野市

後援：NPO 地域交流センター <http://www.jrec.or.jp/>

富士市まちの駅

- ・ 「まちの駅はまちを変える」「共助のたまり場」
自分のまちを愛し地域を大切に思う人々のネットワークづくりをみんなで広げていきましょう！
- ・ 富士市は、約 33,000 年前の旧石器時代の遺跡が存在するなど、縄文時代から人々が住む、気候に恵まれた地域だ。江戸時代には東海道の宿場町として栄え、特に吉原宿が重要な役割を果たし、富士信仰が盛んになり多くの参拝者が訪れた。また、和紙の産地としても知られ、明治時代に洋紙の生産が始まり、数々の製紙工場が造られた。
- ・ 主要産業は、富士山の伏流水や富士川などの豊富な水源を利用した製紙で、パルプ・紙・加工製品など出荷は全国2位である。戦後の高度成長期には、製紙工場による公害問題が深刻化したが、官民の連携による公害防止対策が講じられ、環境対策が進んでいる。
- ・ 富士市まちの駅は、2004 年から始まり、現在 60 か所あり、人々の交流を創り出している。ネットワーク事務局は印象的で、JR 吉原駅から岳南鉄道線に乗り吉原本町で降り、本町道りの市民活動センターを伺った。富士コミュニティ FM と同居の富士市民活動センター内では、毘沙門天大祭に合わせたオリジナルだるまコンテストの出展作が展示されていた。帰路、まちの駅参加の岳南鉄道の富士だるまプロジェクト車に乗ると、車内いっぱいの展示に注目させられた。



吉原本町通



市民活動コーナー



活発な市民活動紹介コーナー



だるまコンテストの優秀作



まちの駅岳南鉄道のプロジェクト車



車内のだるまコンテスト展示

毘沙門天大祭

吉原駅に戻り、毘沙門天大祭の妙法寺に向かうと、途中の道1kmには出店が並び、營々と元気な声を聞くことができた。ほとんどが食べ物屋で、昔懐かしい楽しい賑わいになっていた。長い道を歩いて毘沙門天大祭には、日本三大だるま市のだるま屋が並んでいた。富士市まちの駅の方々も出店を出されていて、元気いっぱいだった。妙法寺からは素晴らしい富士が見えた。帰路、駿河湾に出て、夕日が沈む光景を楽しんだ。



立ち並ぶだるま店

富士市まちの駅の出店

駿河湾の沈む夕日

トヨタ ウーブンシティ

トヨタが宣伝する未来都市ウーブンシティを、三島駅からレンタカーで訪れた。生憎、一般未公開なので道路からの見学となった。旧東富士工場跡地での意欲的な計画に注目したい。

帰路、トヨタ工場最盛期に賑わった感のある近くの裾野市運動公園の寂しさを感じるとともに、五龍の滝を楽しんだ。

所感：富士市のまちの駅・毘沙門天大祭を訪問、歴史を感じた。

トヨタの未来都市には世界的な脱炭素化の中で、EVの立ち遅れが気になった。(文責 中瀬)

